

ムスリム世界の政治体制における植民地化の役割

4.5

明:

在の事を てみれば、ムスリム世界が と暴力によってとり乱されていることに 付かない人はいないでしょう。この 事では植民地政策が、どのようにこの状 を生み出す主要因になったかを 明します。

目: [事イスラ ム的システム政治](#)

より: IslamReligion

日 19 Dec 2011

集日 19 Dec 2011

ムスリム世界では何世 にも渡り、クルア ンとスンナが政治とモラルの指 とされてきました。言者ムハンマドと彼の教友たちがどのように生き、どのようにイスラ ムの最初の共同体を作ったかという模 は、イスラ ムに沿った社会的に公平な政治と社会を作る青写真なのです。

言者ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）は、言者であると共に、政治 の 者でもありました。言者ムハンマドと彼の 者たちの 代、イスラ ム教徒たちは、政教が合体し信仰と政治が密接に し合う一つの共同体に属していました。イスラ ムは 在のサウジアラビアから、北アフリカ、中 、アジアそしてヨ ロッパにまで まりました。史的にイスラ ムは、ウマイヤ朝（661 750年）、アッバ ス朝（750 1258年）、オスマン朝（1281 1924年）、サファヴィ 朝（1501 1722年）、ムガ ル朝（1526 1857年）といった、 々なイスラ ム国家 の基 における宗教概念でした。これら全ての王朝やスルタ ン国家で、イスラ ムは法的、政治的、教育的、 的、社会的基 だったのです。

11世 に、ムスリム世界はトルコ人とモンゴル人の攻 に晒されました。彼らはイスラ ムに支配されたのではなく、征服者としてイスラ ム教国に侵入し、何世 かの に、イスラ

ムに改宗しました。

去2世 では、イスラ ムは西洋からもたらされた 化の影 を受けてきました。ヨ ロッパ 国は19、20世 にムスリム世界への 事侵攻を行いました。彼らはトルコ人やモンゴル人のようにイスラ ムに改宗することはありませんでした。史上始めて、イスラ ム教徒たちはロシア、オランダ、イギリスやフランスなどに政治的服 をさせられるようになったのです。

20世 はある重要な二つの概念によって特 付けられます。ヨ ロッパの帝国主 とイスラ ム教徒の独立 です。植民地化の影 はまだ色 く残っています。西欧の入植はムスリム世界の地 を えてしまいました。国境 が引かれ、西欧がイスラ ム教国の指 者を めてします。第二次世界大 、フランスが西と北アフリカ、レバノン、シリアに、英国がパレスチナとイラク、アラビア半 湾岸、インド 大 、マレ シア、ブルネイに、そしてオランダがインドネシアに入植しました。彼らが、教育的、法的、 的指 をすり替え、イスラ ムの信仰に をもたらしました。入植者たちとキリスト教宣教者たちがヨ ロッパの帝国主 との兵士となり、キリスト教の方が、イスラ ムよりすぐれた宗教と文化であるとししました。そのことは1883 1907年にカイロに在 したクロ マ 卿の 言からも伺えます。彼はこう言いました。「社会的システムとして、イスラ ムは完全な失 です。イスラ ムは男尊女卑であり、奴 制を し、また他の宗教に して、おおむね非 容なのです。」

ヨ ロッパの入植者たちはイスラ ム教徒たちの、 言者ムハンマドの 代から 踐されているイスラ ム法の下に成り立っていた自立支配を西欧の 力者たちと取り替えました。植民地者たちは 代の十字 、つまりイスラ ムを破 するために 征するキリスト教徒たちです。フランスは三日月に する十字架の いだと言いました。ただ一つの いは、今回は兵 と武器で侵入しているのではなく、キリスト教宣教者たちという兵士と宣教活 の一 としての学校、病院、教会と共に侵入し、それらはいまだにイスラ ム教国に残っていることです。フランスはアルジェにあるジャ ミ モスクを、サンフィリップ大 堂に替え、塔にフランスの国旗を げることで、キリスト教による侵攻の象 としました

ムスリム世界の数世 に渡る西欧からの独立への いは次に、西欧によってもたらされた力主 との いへと移ります。政治が安泰にならないことで、多くの人々はイスラ ムとい

う宗教に疑念を抱きました。この疑念への答えは、宗教の中ではなく、史と政治の中にあります。代のムスリム国家はまだ在の状になってから数十年しかっておらず、西欧の需要にこたえるためにヨーロッパによって作されたものなのです。

南アジアではイギリスがインド大をインドとパキスタンに分割し、イスラム教徒が大半の住民であるカシミルを者に渡しました。この争により何百万人もの命がわれ、ヒンドゥ教徒とイスラム教徒の争が起き、西のパキスタンでの内によりバングラデシュができました。カシミル争はいまだにいています。中では、フランスがシリアの一部からレバノンを作り、イギリスがイラクとクウェトに境界を作り、ヨルダンという国も作りました。またイスラエル国家を作り、ユダヤ人ではない住人を追放し、イスラム教徒やキリスト教徒に属する土地をユダヤ人共同体にあげ渡しました。このような昧な境界が、イスラム教徒とキリスト教で起きたレバノン内や、シリアによるレバノン占、また湾岸争などの民族的、宗教的、地域的争を生み出し、湾岸争においてはサダムフセインがクウェトを占したとしました。イスラエルパレスチナ争においては、より深い明が必要です。

20世半ばに植民地主者たちから独立したは、イスラムの政治的骨みが西洋から借りてきた政治モデル、に置き替えられました。そのため都市では社会的援助システムの欠如や、政治腐、富の差の大といったを抱えることになりました。西洋化は生活のを向上させるところか、的な家族、社会的、宗教的を崩させたのです。多くのイスラム教徒は、モラルと宗教的退の原因が西欧の政治、的展の骨み内にあるとしています。

王朝や事指者、または元事指者が指する、独裁政府が代のほとんどのイスラム教国を支配しています。国家力は公安部、警官、にあり、会合、言、出版の自由はしく制限されています。多くのイスラム国家が力主によってされており、市民的社会や出版の自由とはかけられています。

ヨーロッパ、そしてのアメリカは、代のイスラム国家への影力を行使するだけでなく、独裁主の政治体制とい同盟をき上げ、石油やその他の源を西欧に提供、保するための非民主的なやり方も容あるいは支持しているのです。

人々が、なぜムスリム世界は暴力と 乱によってかき乱されているのかと うとき、その 答えは 代と 去の植民地主 者の介入にのみ 出されます。それゆえに、その土地の住民を 治する原 に基づいた社会、つまりイスラ ムによって全ての が解 される原 に基づいた社 会に立ち返るしか、成功の道はないのです。

Footnotes:

1

西洋列 の中の初期の帝国主 者たちは、 的 policy だけでなく、文化的、宗教的な政策も持ち みました。例えばフランスは、イスラ ムの法廷に介入したり、他のイスラ ム を抑 することで、フランス文化をイスラ ム文化と取り替えようとしてしました。例えばアルジェの大モスクをサン フィリップ大 堂に替えたあと、アルジェの大司教はイスラ ム教徒たちを「怠惰、 婚、一夫多妻、盗み、 共 主 、宗教狂信、また人肉嗜食のもととなる彼らの宗教から救う」ための宣教活 を打ち出しました。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/359>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。